
俺ん家の家族！

作戦参謀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺ん家の家族！

【コード】

N5101N

【作者名】

作戦参謀

【あらすじ】

どこかの街にある萩原家のバカの家族達がいろいろやるショートギャグ集です！

ここは 県出沢市……

この街のある住宅街にある一軒家。

ここは世にも楽しい家だった。

このお話の舞台は萩原家を中心として展開される。

俺と母ちゃん

「ちよ！！ おまつ！！！」

俺の名前は萩原啓太。はぎわらけいた

この萩原家の二男、まあ強いて言うなら勉強は苦手だ。
得意な事は運動！そんな俺は今、二二コ動画でMADを視聴して
いた。

「ったく〜！ 啓太あなーにパソコンの前で笑ってんのさ？」

このオバハンは萩原凜はぎわらりん、俺の母ちゃんだ！

「悪いかよ母ちゃん！ これ超オモローなんですぜ！？」

「はいはいそーですか。そんなことよりアンタ期末近いんでしょ？
パソコンばっかやってないで勉強しなさい！」

つまりウチのオカンはこういうタイプなのだ！！！！

まっ、意外とモロい部分もあるからこのまま放っておけばいつも通りスルーできるが。

「いいの俺超天才だし」

「ウソつきなさいよ！！ 赤点教科あったじゃないの！？ ホント
大学進学はおろか就職すらできずにニートになるよ？」

「ええじゃないかかニートになったらニート伝説を俺が築いてやん
ぜッ！！！！」

「あんましふざけた事言ってるよインターネット解約しますから」

「ちよっ！！ 勘弁してええええッ！！！！」

俺にとってインターネットは生命線！！！！

これは厳しすぎる！！インターネット解約阻止のため俺は勉強と言
う名の罰を受けました！！！！

俺と兄貴

ここは中橋峠！

夜の中橋峠は走り屋の溜まり場だッ！！

ちなみに俺、18歳で免許持つてるんだ！そしてバイトでコツコツ溜めたお金でついに29万のS14シルビアQ'sを買っちゃいました！

色は白！仕様はほぼノーマル！！だって金ないし車もローンだし、その為にやっているバイトは忙しいぜ？

つで、俺の兄貴こと萩原涼太も走り屋だ！

23歳の大学生、愛車はブルーのシルエイティ！
決してイパクトブルーではありません！！

「兄貴い！俺始めてのバトルだぜ？」

「心配するな。お前のドラテクは免許取り立てとは思えないほど卓越している。流石我が弟だ、ゲームで鍛えただけある」

ゲームかよッ！！

by 作者。

ちなみに兄貴、この中橋峠では最速の走り屋だ！

「カウント始めるぞおーッ！！ 5、4、3、2、1……ゴォッ！！」

ゴワアアアアアッ！！！！

「あつ、しまった。薬を飲むのを忘れていた」

「はっ？ 何の？ 風邪でもひいてんの？」

「……し、しかし、流石だ。これに俺の公道最速理論が加われば最強だ」

いやアンタどこの白い彗星だよッ！？

それにしてもなんだろう……ウチの兄貴、泣きそうだぞ？

……ま、まさか命にかかわる病気なのか！？

それで最期に俺の車の助手席に！？なんで母ちゃんも親父も兄貴自身も俺に言わなかったんだよ！？

「うっ！ おええええっ！！」

「って乗り物酔いかよッ！！」

「お、俺は！ 車に乗るとすぐ酔って！！ うええっ！！」

「コレどっかで見たとあるぞオイッ！！　ってか俺の車で吐くなよ絶対！！」

しかし兄貴の顔色は段々と悪くなっていく！！
これは……ピンチッ！！

「ううっ！！　こ、この車！　エチケット袋はついてないのか！？
っ！　かもつとゆっくり曲がってくれえっ！！」

「無理だあバトルに負けるし！！　つかエチケット袋なんてついてるワケねーだろ！！」

なんだろうがこの展開！！
すぐくデジャヴを感じますッ！！！！

「おえええええええっ！！　げええっ！！」

「や、やめてくれえ兄貴イッ！！！！」

「ま、マズイッ！　胃の中のギアがバツクに入りやがった！！　こ、これは……出るぞ！！」

「ま、まさか……頭　字Gが！？」

「そうだ、Gだ」

っっておまっ！！

ゲロはヤメテエーッ！！！！！！

「うおええええええええええええええええッ!!!!!!」

「ぎゃあああああああああああああああああああああああッ!
!!!!!!」

……俺の初陣は勝利でした。

馬鹿な事をやっている間に相手よりも前を走っていたのだった。

「フツ、さ、流石は俺の公道最速理（ry）うええつ!!」

「何の理論だあああああッ!？」

「こ、これは、車に（ry）げええええええつ!!!!!!」

「もういいからお前走り屋引退しろッ！」

このデジャヴを感じる人物。

それが俺の兄貴、ちなみに後日走り屋をマジで引退したそうだったか、車の中も外もくせえッ!!!!!!

俺のS14がGで台無しだああああ（涙）

俺と妹

ある日曜日！この日は庭の除草作業を行うことになった。

「啓兄イツ！ おまたせー！」

「おう！」

この元気な結構可愛い子、俺の妹です。
名前は萩原千波。はぎわらちなみ

「っーかなんだよその作業服」

「コスプレです！」

いやコスプレとは違うだろ。
ってか気合い入れ過ぎだッ！！

それにしても……

「すっげえ量！！」

絶望的だろ雑草の量が！！

「フフツ、雑草さんってエッチなんだね」

「やめなさい」

うちの妹はただのアホの子でした。

俺と親父

ピコンッ！！ピュンピュンッ！！

「あっ！！このっ！！」

「んんんんんっ！！」

今！熱血しております！！！

ズゴォーンッ！！

「だあああくっそおっ！！」

「ダアーツハハハ！！ 見たか日常的にプレイしている俺の実力をツ！！」

「啓太がここまで強いとは思いつたあツ！！！」

この人は斧親父。

名前は萩原宗太。小説家らしく、部屋は汚いがベストセラーも出版するほどのすごい人だ。

だけど……中身はただのオタクだ！！！」

「ところで啓太、お前確か18になったんだよね？」

「おう、免許も車も持つてるぜ？」

「そうか、なら……頼む！！ この萩原宗太！ お前に一生のお願いがあるんだ！！」

な、なんだ！？

親父が泣きながら土下座！？一体……どんな用件なんだ！？

「時間がない私の為にツ！！ のーる わーくすつてエロゲー買ってきてくれええっ！！」

「……………」

それ、発売今年のクリスマスイブの予定なんだが（汗）

萩原家の朝

「啓太あー朝ですよおきなさい!!」

んん……母ちゃんがうるせえ……

「啓兄イツ！ 起きろー！ どうせ昨夜は右手が忙しくて疲労して
るんでしょ!？」

なっ!？

「してねえええツ!!!!」

朝からカオス全開の我が家ッ!!!!
だが、こんなモンじゃないんだ。

「おお、啓太起きたか？」

「おはよー親父」

「のーる わーくすマダー？」

「……いや、その……」

だからそれまだ発売前だつて！！
今日の朝飯は卵焼きか。

そういえば……

「あれ？ 兄貴食わないのか？」

「今日から面倒だし。車通学しようと思つんだ」

「へえーっ、でも飯はくつとかないと」

「だから、出てしまつた。頭 字Gが……」

「げ、G……もうお前自分で車運転するな！」

一方千波はなんか卵焼きで遊んでた。

「千波、遊ぶなよ」

「うーん、中々騎乗位が出来ない……」

「ハイそこ！ 食い物は変態のオモチャじゃありません！」

その頃、奥では親父と母ちゃんが夫婦喧嘩中でした！！

「あなたよりあたしの出番が少ないってどういづことなのよ!?!」

「うるさい! 私は、のーるわーくすが手に入らなくてイライラしているんだツ!?!」

「つてくだらねえ喧嘩ツ!?!」

「いってきます」

「兄貴は出撃!?!」

「絶対、ギアをバツクに入れるなよ? (胃的な意味で)」

「いいなあ! 啓兄イ千波達も兄妹喧嘩しよう!?!」

「え? いやあんまいいモンじゃないと思っぞ?」

「大丈夫! ふんっ!」

「……そこで床に寝る理由は?」

「あの……千波、始めてだから……その、優しくしてくださいね」

「……」

「もうお前にいい病院紹介するわツ!?!?!」

今日も我が家は平和です!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5101n/>

俺ん家の家族！

2010年10月8日12時42分発行